

出版ダイジェスト

社団法人 出版ダイジェスト社 発行人 鈴木 肇 <http://digest-pub.net>
 毎月3回(1日・11日・21日)発行 購読料1ヵ年=送料共1,575円(税込) 郵便振替 00190-3-95516
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-13 ラフィネお茶の水805 電話03-3292-2323 FAX03-3292-2325

現代に活かす伝統の力

農文協特集

朝日新聞社・第3回「明日への環境賞」受賞!

『日本農書全集』編集委員会

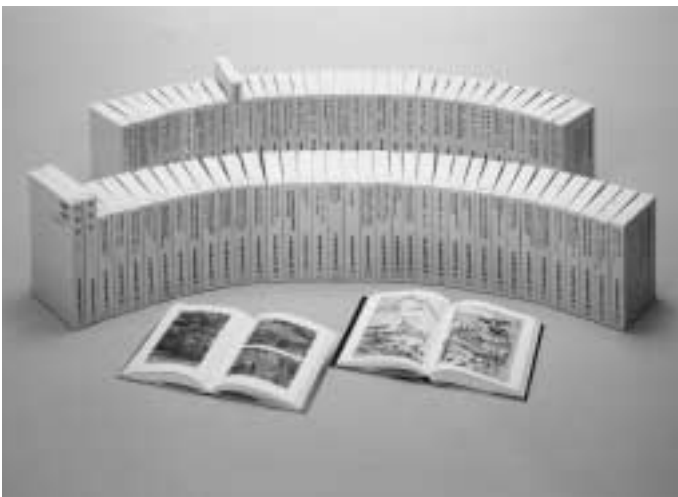
江戸期の農書集大成

『日本農書全集』(農山漁村文化協会刊)の圧倒的なボリュームに、だれもが目をみはる。72巻に及ぶ1巻、1冊の原稿は400字換算で約1千枚。しかも定価4,300円から7,500円で平均6千部、多い巻は1万2千部も売れたとすれば、出版状況は吹く風の立派なベストセラーだ。

内容は江戸時代に全国各地で記述された農書の原文と現代語訳。筆者の多くは在郷の庄屋をはじめ一般の人たちで、農法に始まり農具の解説、災害と復旧など幅広い題材が扱われている。その農書3,200点を郷土史を中心

に300人の研究者が訳出した。具体的な記述ゆえに読解は難航をきわめ、研究者は互いに自身の解説を添えて書きあわせ、金銭訳出にきつつけられた。刊行は7月24日を要したとの間、飯沼一郎・京大名誉教授(84)、佐藤常雄・筑波大教授(63)ら編集委員会メンバーが農書の発掘に訳者の選定、監修で研究者を支えた。

膨大な労苦に読者は敏感に反応した。『食』の理想像を見いだした。山形県村山市のスイカつくりを呼ばれ



「人間の営みが『けがえのない地』を創り続けています。これ以上の環境悪化を食い止めるためには、人類の永続的な生存はほぼつかないという危機感から、家庭、地域、企業をさまざまなレベルで、自分たちの足元を見直し、持続的な社会づくりを目指す動きが広がっています。『明日への環境賞』(事務局)

朝日新聞社では、創刊50周年に当たる1999年、つづいた環境保全の多様な試みを顕彰するため、この「明日への環境賞」を創設。地球温暖化防止から家庭のゴミ減らしまで幅広い分野を対象とし、「先見性」「モデル性」「継続性」に重み実践活動を顕彰する。

さらに、朝日農業賞、朝日森林文化賞の精神を引き継ぐ形で、賞の一端として、環境に配慮しながら美観を華やかにしている農業生産と森林保全・緑化活動を対象とする農業特別賞と森林文化特別賞が設けられており、今回、「日本農書全集」編集委員会は、この農業特別賞を受賞した。

「日本農書全集」編集委員会の活動への講評と活動内容の各地に伝わる江戸時代の農書の復

環境保全の多様な試みを顕彰 朝日新聞社「明日への環境賞」

る門脇悦さん(49)は、軽トラックに積んで持ち歩き、畑や道端で読んで傍観を引いた。農業依存で対症療法に終始する農家の現状から抜け出す健全な発想を農書に教えられるという。農書がつけられた現地を訪ねて、地元の人たちから話を聞く読者のグループが結成されるなどの動きも起きている。

同協会編集担当理事の原田津さん(70)は「江戸の町方の歴史は文献や文学でよく知られているが、農村は意外に記録がない。農書はその欠落を補い、これがまとまって江戸の庶民の暮らしの全容がよく把握できた感もある」と話している。(朝日新聞2002年4月19日より転載)

刻・現代語訳『日本農書全集』72巻を編集・刊行し、環境を汚さない当時の農法を紹介して、現代の暮らしに大きな示唆を与えた。

●活動の始めたきっかけ 農業の近代化がもたらした環境汚染が人の健康に影響を与え始めた事態を反省し、解決の手がかりを江戸時代の農書と暮らしに求め、75年に編集活動を開始した。77年に第1回配本を行い、01年に完結した。

●編集委員・執筆者 230人/販売部数398000部

●主な活動内容 全国から農書を発掘し、研究者らを執筆者として組織し、全書を定期的に刊行した。一方で、執筆者の協力を得て約2000人による「農書を読む会」を発足させ、岩手県から沖縄県まで10カ所の農書成立地での員外や学習、交流活動を行った。また、80年から90年まで、機関紙「農書を読む」を継続的に発行した。

第3回「明日への環境賞」受賞団体
滋賀県環境生活共同組合(滋賀県)
せつげん運動の推進など、琵琶湖の水を守る長年の取り組みの中から、菜の花を栽培しグリーン燃料を作る地域での資源循環モデル「菜の花プロジェクト」を確立した。



受賞五団体。「日本農書全集」編集委員会は右から2番目。



賞杯「水の惑星」(左)。渋谷良治作

環境監視研究所(大阪府)
環境汚染に起因する市民のために水や食品、土壌、大気などを分析し、信頼できる結果を提供して、対策に貢献している。

吉野川シンボウム実行委員会(徳島県)
吉野川の可動堰建設計画に対し、広範な住民の参加を得て、河川環境を保全する活動を行っている。

◆森林文化特別賞
財団法人 トトロのふさと財団(埼玉県)
むかし懐かしい雑木林を、市民から集めた資金で保存するとともに、行政や地元自治会など協力して田畑や古い民家を残し、また、環境教育に努めている。

『日本農書全集』が朝日新聞社 「明日への環境賞」を受賞して

農山漁村文化協会出版事業センター所長 原田 津

農家に支えられて

このたび、『日本農書全集』(全72巻・別巻)が朝日新聞社が近年設けた「明日への環境賞」を受賞した。賞状には次のように記されている。

「各地に伝わる江戸時代の農書の復刻・現代語訳の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「明日への環境賞」は、環境にやさしい商品やサービス、環境にやさしい企業や団体、環境にやさしい個人や家庭などを表彰する。『日本農書全集』は、江戸時代の農書を復刻・現代語訳し、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」



第12巻『農書全集』より

地域おこしの 手引書

「生まれ在所」の豊か さを知る農書の世界

「生まれ在所」の豊かさを知る農書の世界。江戸時代の農書は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「生まれ在所」の豊かさを知る農書の世界。江戸時代の農書は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「生まれ在所」の豊かさを知る農書の世界。江戸時代の農書は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「生まれ在所」の豊かさを知る農書の世界。江戸時代の農書は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「生まれ在所」の豊かさを知る農書の世界。江戸時代の農書は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「生まれ在所」の豊かさを知る農書の世界。江戸時代の農書は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「生まれ在所」の豊かさを知る農書の世界。江戸時代の農書は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「生まれ在所」の豊かさを知る農書の世界。江戸時代の農書は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」

「生まれ在所」の豊かさを知る農書の世界。江戸時代の農書は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。『日本農書全集』の出版は、現代の暮らしに必要不可欠なものである。」



第52巻『漬物塩嘉言』より

日本農書全集

朝日新聞社・第3回
「明日への環境賞」受賞

全72巻・別巻1 現代語訳

持続的農業と循環型社会の原像＝江戸期庶民の生活世界を記した農書。二四年もの歳月にわたり全国から三百余点を発掘し、翻刻、現代語訳、解題を付す。
A5判(第26・71・72巻B5判)、上製・箱入、各巻「月報」付、揃価435100円

組見本

各ページ上部に原文書下し文、その下に現代語訳を記載。さらに、わかりにくい語句には注記を付ける。

第14巻「広益国産書」より



こう読んだ

『日本農書全集』の月報へのご寄稿の一部の数節を再録させていただきました。全文をお読みになりたい場合は、コピーをお送りいたします。ご希望の著者名を明記し、80円切手同封の上、下記までお申込み下さい。〈177-0054 東京都練馬区立野町15-45 農文協図書館書庫係〉

庶民の考え方を読み取る
速水 融

速水融

よくここまでテキストを集めたものと驚嘆する。同時に、このような地味な仕事を続けられている方々に心から感謝したい。原文と現代語訳が同じページの上下に組んであるのも、読者にとってだけ助け、でもの人々に江戸時代の人々の持っていた考え方を伝えてくれるのに役立っており、想像を超えるものがあるだろう。

（二九四、経済史）

(一九九四、經濟史)

江戸時代の科学的な研究

板倉聖宣

いまなお「江戸時代の大部分の農民は、米を作ってもみな年貢に取られてアワ・ヒエばかり食べていた」と思っている人が、この書を期待したい。

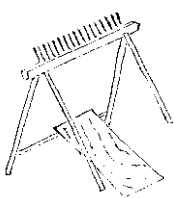
(一九九四、科学史)



民衆知と学問との交流

塚本
学

多くの農民の農書が、経験の蓄積と交流によって「農業知識」の学問では覆いきれない地域ごとの特性にたつた農業の知恵をまとめたという努力は、ひつ日本の文化の歴史の上でも重要な事実にちがいないが「老農置土産」は、そのような面をもつたばかりではなく、現実から抽象化されるがためにも学問や遠くさかる著述よりも学問の姿を表明しているのである。学問

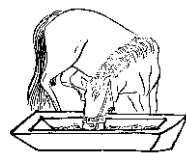


農書に宿る近代精神

谷沢永一

と実用との関係、文字知識と生
きるための知恵との交流のト
ピックで、すぐれた見識といえよう。
文人の側での民衆の生活知に学
ぶうごきとあい応じて、民衆の
あいだに学問への関心が高まっ
ていく時代を思わせる。

(一九九四 民俗学)



江戸の「園芸文化」

安達瞳子

ることを期待せぬ献身から滲み



一つの堅固なりアリティの国へ

村田喜代子

いったい農書というものは、どんな人たちが読むのだろうか。たとえばその中の林業の部をひもとくと、近世林業の技術



江戸時代は活字文化の時代

朝尾直弘

体系が厚くびがある。森林国日本の方途を探ろうとするとき、源流を探索するのは必だにむかえう。農業・漁業しかりた。けれど現代農業も漁業、林業にもまた無数の人間がいる。私のような者のことだ。それがどうして農業を最初の手にしたかは、小説を書くための資料としてだ。ところが当初の目的からはすれて、今ではなんだから純粋読者になつてほしい。さういふことをしなう。

とひねったのはいい。

『農業全書』にも、そのすべてをきこえた条件であり、それが日本の活字文化とよべるもので



ジョニー・ハイマス

ジョニー・ハイマス

私は特になんばの美をこゝに魅かれ、全国各地を歩きまゐり、稲田圃へからか収穫、そしてお米になつてからごはんになるまでつまずり写もみかはんはんになるまで種にも撮つたのですが、第七一巻の「老農夜話」とす。



「日本農書全集」収録農書一覽

- 漁業 ● 第58巻 松前産物大概鑑(松前)、
関東鰯網来由記(上総、能登国
採魚図絵(能登)、安下浦中行
事(周防)、小川嶋鯨鯢合戦(肥
前) ● 6500円

● 第59巻 玉川帖御用中日記(武
蔵、水曳日記帳、信濃、松江湖
漁場由来記(出雲、釣客伝(武
蔵) 金魚養玩草(和泉)
● 7000円

● 畜産・獣医 ● 第60巻 鶺鴒(武蔵、犬狗養畜伝(摂津)、
戯作附蘭方之次第
(乘用馬) 牛書(播磨) 安西流馬医卷物 万病馬療鍼灸摘要
(山城、解馬新書(武蔵)
● 7000円

● 農法普及 ● 第61巻 豊秋農笑種(出雲、試験田畑(羽後、御米作方実語
之教(信濃、勸農徴志、伊勢錦(大和、筆松といふ者の米作
在之日記(羽後、東道豊事荒増(周防)
● 6800円

● 第62巻 農業往来(農後、再新百性往来豊年蔵(摂津)、満作
往来(武蔵、新撰養蚕往来(武蔵、米穂榊葉初用方教訓童子
道知記 三等往来(阿波、門田の栄(三河)、勸農和訓抄(甲
斐、農業家訓記(尾張)
● 7000円

● 農村振興 ● 第63巻 儀定書(信濃、永代取極申印証之事(下総)、永代取
極証定書(下総、暮方取直日掛繩索手段帳(駿河)、報徳作大
益細日記(遠江、駿河)、仕事割控(下総)、年中仕業割平日日記
(下総、耕作会(羽後)
● 6800円

● 開発と保全 ● 第64巻 当八重原新田開発日書(信濃、尾州入鹿御地開発日記
(尾張)、飯沼定式目録高帳(下総、羽田川飽海郡遊左郷西浜
補付縁起(羽前、木屋新注論(対馬)
● 6500円

● 第65巻 川除仕様帳(甲斐)、積方見合帳 紀伊、治河要録
通道橋仕書(肥後)
● 6500円

● 災害と復興 ● 第66巻 富士山砂降り訴願記録 相模、富士山焼出い砂石降
り之事(相模)、浅間大變覺書 上野、
弘化大地震見聞記(信濃、大地震罹浪日
記(大和、高崎浦地震浪津波記録(安房)、
大地震津波夷記控帳(志摩) ● 6500円

● 第67巻 大水記(武蔵)、水損難波大平記
(備中)、洪水心得方(備前、享保十七王
子大變記(筑前)、年代記(陸前、凶年
違作日記、附録(信濃) ● 6000円

● 本草・救荒 ● 第68巻 備荒草木図(陸中)、農家心得草、
菓草木作植書付(武蔵)、農家用心集(下
野) ● 6500円

--

自然と人間を むすぶ

全集・シリーズ案内

日本の食生活全集

全50巻・各都道府県別編集
A5判・上製

●各二九〇〇円/揃価一四五〇〇〇円

その地の自然と暮らしの積み重ねに育まれた「食事」のありよう、いま失われつつあるその本来の姿を、各地の古老からの地道な「聞き書き」と再現写真で記録した壮大な食の民俗誌。

●日本の食の歴史を記録：大正末期から昭和初期まで、戦争による混乱、戦後の洋風化を経て、以前の食生活を記録。

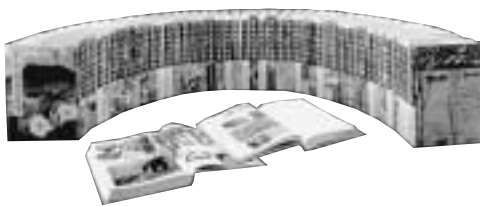
●各都道府県を風土、生業の違いから、いくつかの食文化圏に分けて記録。

●四季折々、朝昼晩の献立、贈れ食、行事食、薬効のある食べ物、救済食まで記録。

日本の食生活全集

Windows 3.1以上対応 全1枚

●定価120,000円



安藤昌益全集

◆毎日出版文化賞・物産索引賞受賞作品

安藤昌益研究会編 A5判 上製箱入
揃価一五五〇〇円

安藤昌益は、一七〇三(元禄一〇)年、現在の秋田県大館市二井田に生まれた。医学を修め、医業を生業としたが、人体の歪みを見つめるその視線は、社会・環境の歪みへと広がり、独自の思想を形成。それは、当時の封建体制のみならず、孔子、孟子、孫子ら先哲の教え、仏教思想などを戦闘的に批判。自然と人間の調和を基本とした、万人平等の「コミュニ」を構想するという、日本思想史上破格なもの。その現存する著作を集成し、底本を忠実に復刻した影印版、さらに全文書下し、現代語訳、注釈、解説を付す。

全23冊

●現代語訳編

●資料編

●復刻編・影印版

●別巻

①の縮本自然真道⑧⑨統
道真伝⑬刊本自然真道
⑭⑮上・下 医学関係資料、自然真道真道簡ほか
⑯⑰縮本自然真道⑱⑲統
道真伝
安藤昌益全集(著作目録、年譜、用語索引付)

各42000円/62000円



講座 食の文化

監修・石毛直道 国立民族学博物館館長

発行(財)味の素 食の文化センター
発行 農文協 菊判・上製、各巻平均四〇〇頁・カラ一24頁、定価各六八〇〇円、揃価四七六〇〇円(税込)

作る・食べる・売る・楽しむ「日常茶飯事」の文化をあらゆる角度から解剖。人間の食の豊かさ、多様さを、様々な角度からの学際的研究で明らかにする。

「食」をトータルな人間の学として体系化する研究集団の先駆的営為。集う研究者、二〇分野、二〇〇余名、「食の文化フォーラム」十六年にわたる学際的研究の成果を、最新の到達水準で編成し、食文化の構築を目指す。

- ① 人類の食文化
- ② 日本の食文化
- ③ 調理とたべもの
- ④ 家庭の食事空間
- ⑤ 食の情報化
- ⑥ 食の思想と行動
- ⑦ 食のゆくえ

田村眞八郎、井上如編



江戸時代 人づくり風土記

全50巻・B5判 自然と人間が活発に交流し、地域の教育力が発揮され、独自の産業・生活・文化を作り上げた江戸時代。その営みを、地域開発、町づくり、自治、教育、福祉、学芸、民俗など多様な分野ごとに発掘する郷土史読本。

監修 会田雄次・大石慎三郎・他
各道府県版 35000円/45000円
特別編集版 東京版「大江戸万華鏡」
●CD付100000円、沖縄版●CD付70000円、大阪版「大阪の歴史力」100000円
全50巻揃価225000円

索引巻

近世日本の地域づくり
2000のテーマ
全集索引の常識を破る
読んで楽しむ探究事典

第50巻 環境、福祉、教育など現代の課題にそって江戸時代の魅力・2000項目を解説し、本全集・都道府県版の関連記事を案内。
●50000円

明治農書全集

全13巻、編集 古島敏雄・川田信一郎・熊沢善久雄・須々田繁吉、A5判、上製・箱入
●揃価70000円 江戸から明治、近世から近代へと移るなかで農業はどう動いたか。老農と近代農学者との論争、協力を通じて築き上げた明治農業を原点到にさかのぼり見詰め直す。



- 1 稲作 林道里「稲作新書」、横井時敏「重要作物 稲作新書」
- 2 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 3 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 4 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 5 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 6 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 7 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 8 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 9 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 10 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 11 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 12 稲作 三浦常明、采作新書、他
- 13 稲作 三浦常明、采作新書、他

日本と世界 農村と都市共存・共生への指針

世界の食料世界の農村

全27巻 編集代表・今村奈良臣 A5判、丸背
上製、各三二〇〇円、揃価八六四〇〇円

21世紀を動かす世界の根本問題——農・食・環境を27のテーマで論じた書下ろし全集。貿易、資源、中山間地振興、後継者、食の安全性：国内外の諸問題を根本的に捉える。



- 第1巻 海外農村視察必携
- 第2巻 東アジア農業の展開論
- 第3巻 世界の農村事情
- 第4巻 土地を動かす英知と政策
- 第5巻 農業の継承と参入
- 第6巻 先進国 家族経営の発展戦略
- 第7巻 フランス山間地農業の展開
- 第8巻 世界の農業支援システム
- 第9巻 地域資源の保全と創造
- 第10巻 水資源の枯渇と配分
- 第11巻 開発援助の光と影
- 第12巻 農協改革の新視点
- 第13巻 消費者運動のめざす食と農
- 第14巻 ECの農政改革に学ぶ

農文協

●食と農の4大データベース搭載！〈ルーラル電子図書館〉会員登録中！：http://lib.ruralnet.or.jp/

〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1

農業書センター

（財）農文協図書館

TEL.03-3585-1141
FAX.03-3589-1387

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル地下一階
TEL.03-3245-7647 FAX.03-3270-2800

〒177-0054 東京都練馬区立野町15-45
TEL.03-3928-7440
(2002年6月現在 価格は税込)

學術・逐時刊行物

るため、世界各国の第一線の研究（を翻訳、国内に紹介する）者による食料・農業・環境・最近では、農業の多面的機能

200円)は、農業生産国フランスにおける農村地域の振興等

8円、2003年版「食生活と食品産業」(予定)。

豊川裕之、田村真朗、福岡博保、松下幸子 ●1600円

